

教育・子育て （４件）

●伊達小学校の校庭は、水捌けがよいので運動会は雨が降っていなければ開催してほしい。また、新しい校庭も水捌けがよいものにしてほしい。

荒天などによる運動会の延期、日程変更等につきましては、児童の安全と健康を第一に考え各学校において判断するようにしております。その際には、PTAなどの関係団体とも連絡・調整をするなどして関係者の理解を得るようにしているところです。

また、新しい校庭につきましては、令和５年度から令和６年度に施工予定している屋外整備事業の中で、水捌けのよい屋外運動場整備を計画しています。

（担当 教育総務課）

●部活などで帰りが遅い時など心配なので、梁川中学校への送迎バスを全地区に導入してほしい。小学校の送迎バスと同じルートでも構わないので導入してほしい。

遠距離通学者の基準として国は、片道小学生４キロメートル以上、中学生６キロメートル以上としております。

中学生の送迎バス導入や小学生の通学バスへの同乗については、梁川地域だけでなく全市的な問題として検討する必要があります。遠距離通学支援についてのこれまでの旧町ごとの経緯や地域の公共交通・財政状況との兼ね合いもあり、お申し出の送迎バスの導入は難しい状況です。

今後とも子どもたちの登下校時における交通安全指導に一層力を注ぎ、事故防止および安全確保に努めてまいります。

（担当 学校教育課）

●伊達東グラウンドに建設予定の認定こども園について、進捗状況を押してほしい。

認定こども園の設立は市の「（仮称）伊達東認定こども園整備事業」として決定しております。令和３年１２月には整備・運営する事業者も決定し、令和６年４月の開園を目指し調整を進めております。規模ですが、定員は１２６名（０歳児９名、１歳児１２名、２歳児１５名、３歳児３０名、４歳児３０名、５歳児３０名）を予定しています。伏黒幼稚園は（仮称）伊達東認定こども園開園後に閉園となりますが、園児は優先的に入園できます。令和６年４月の開園に向け計画的に進めてまいります。

（担当 こども未来課）

●交通指導員が横断歩道を渡る小学生のために車を止めたのですが、距離が近すぎるのと雪により道路は凍結していて、停止するのに危険を感じた。

路面の状況、車のスピードなどをみながら判断するよう助言をしてほしい。

道路交通法において、「車両等は横断歩道等に接近する場合、その横断歩道等の直前で停止できるような速度で進行しなければならない。」「車両等は、その進路の前方の横断歩道等を横断し、または横断しようとする歩行者があるときは、その横断歩道等の直前で一時停止し、かつ、その歩行者の通行を妨げないようにしなければならない。」とされており、市では交通事故を無くすためにも、交通安全運動などを通じて自動車を運転する皆さまにご理解とご協力をお願いしております。

市といたしましても、この度いただいたご意見を踏まえ、路面状況に応じた急停止にならない交通誘導を実施してまいります。

（担当 生活環境課）